

全国高等学校弓道選抜大会出場！

第42回全国高等学校弓道選抜大会が昨年12月23日、東京武道館・大武道場で行われ、福島県大会で第1位に輝いた、2年生の箭内優斗さんが個人戦に出場しました。

予選・準決勝を勝ち抜き決勝へ進出し、上位11人に残る大健闘を見せました。

今後もさらなる高みを目指し頑張ってください！



小野高通信

high school

小野小通信

primary school

大谷グローブが届きました！

ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手から全国の小学校に贈られたグローブが3学期早々に小野小学校にも届きました。各学級で実際に手に取って感触を確かめた後、児童が休み時間などに自由に使っています。「大谷グローブ」によって小野小学校でも「野球少年」が増えるかもしれません。



「ふくしまの未来」へつなぐ体験応援事業成果発表会

「ふくしまの未来」へつなぐ体験応援事業発表会が1月20日、郡山市の中央公民館で行われ1年生の先崎詩さん、吉田希さんの2人が参加しました。

昨年10月に実施した八重山農林高等学校生徒派遣交流研修での体験について発表しました。

「東日本大震災と福島」「小野町と八重山の地域課題」「福島の観光」の3つのテーマを通して「福島の今」を知り、復興への思いを強める貴重な経験となりました。



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校



福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<http://www.ono-h.fks.ed.jp>

小野小・中学校 韓国教職員招へいプログラム

韓国の教職員訪問団が1月16日に小野中学校へ、17日に小野小学校へ来校しさまざまな交流をしました。



小野中学校では、生徒会執行部による歓迎会、1年生が制作した町の魅力を伝えるCM発表会と交流授業、日本の家庭文化に触れるホームビジットを行いました。韓国が好きな生徒たちが積極的に声を掛けたり一生懸命に話し掛けたりする姿が至るところで見られました。外国の方と交流しながらコミュニケーションを図る楽しさや外国語を学ぶ意義を感じた一日になりました。

小野小学校では、授業参観と教職員交流会などが行われました。授業参観は1年生(国語の物語の授業)と5年生(算数の図形の授業)を観ていただきました。その中で、韓国と日本の教材の違いや、進め方の違いなどについて質問をするなど興味深く参観されました。またバラスポーツの「ポッチャ」と一緒に楽しみ盛り上がる「コマもありました。教職員同士の交流会では、お互いの国の学校の実情や違い、日韓での教育に共通する課題やこれからの教員として取り組むべきことなどについて、通訳を交えて熱の入った意見交換が行われました。新しい発見や驚きがあり、児童、教職員一同にとっても有意義な時間になりました。



おのまち認定こども園通信

小野小学校出前授業が1月30日に行われました。出前授業では、小学校の先生にお越しいただき、4月から小学生になる年長組の子どもたちにお話をいただきました。初めは少し緊張していた子どもたちも、小学生になることへの期待が高まり、しつかり話を聞かなければという姿が感じられました。

校長先生と先生方から自己紹介があり、校長先生からの小野小学校〇×クイズ問題では、おもしろい問題が次々と出され、子どもたちは正解が出るごとに盛り上がり、笑顔がみられていました。ピアノが得意な先生による曲当てクイズでは、すぐに曲目を当ててしまう子どもたちでした。

「小学校に行ったらどんなことをするのか?」登校の時



大切である」と学び、小学校ではどんな授業が行われるか、先生から小学校での一日の流れを教えてくださいました。

いよいよ4月からは小学生になる子どもたち。今回の出前授業により、子どもたちはますます小学校入学が楽しみになりました。

おのまち 地域おこし協力隊活動記

違いを実感した3度目の冬

こんにちは。地域おこし協力隊の山田です。2月になりました。最近になり新しい協力隊員も着任し、交流をしています。先日は雪が降り、つどっておのまちの駐車場の雪掻きをしていました。新隊員はまだ小野町の寒さに慣れておらず「寒すぎます」と、しきりに言っていました。対照的に私は3度目の冬ということもあり、この寒さに全く動じなくなっている自分を再認識しました。こんなにも人間は環境に適応できるものなん

だなど、私自身は1年目の冬に痛烈な寒さを感じて、毎日寒さから来る頭痛に悩まされていたことを思い出しました。新隊員は着任早々、Instagramでの発信を始めています。ご自身の感性で小野町の魅力発信をされていて素晴らしいなと思います。着任早々この寒さを経験しましたが、来年の今頃はどんな情報発信をされるのかと楽しみにしています。

さて、私の最近の活動ですが、昨年の12月に広報1月号の表紙撮影に飯豊の日本全業工業付近まで行きました。今回のテーマは1月号に合わせて「初日の出」でした。日の出



の撮影だったので、日が昇る前から飯豊へ向うこととなりました。早起きは苦手で、さらには冬ということもあり起きるのが大変でしたが、ドローンを飛ばして撮影を行いました。同行していただいた担当職員さんも準備などで協力していただきました。

ちょっとした失敗談なのですが、ドローンはバッテリーを装着して電源を入れる仕様になっています。バッテリーはリチウムイオンなので寒さに弱く、本体がある程度の温度まで上がらなければドローンは正常に動作しない機械です。そのため、自宅から持ち運びのできる電気ストーブを持っていき、撮影地でバッテリーを温めることが必要でした。加えて担当職員さんにポータブル電源もご用意いただきました。電気ストーブにバッテリーを近づけて本体の温度が上がるのを待っていました。なかなか上がらなかつた。これでは日の出を逃してしまう可能性も出てきました。困っているとふっと思い立って、車のエアコンの風で温めてみました。

結果、こちらのほうが早く温まり無事に日の出の撮影に成功して、あの1月号の表紙になりました。実は締め切りも迫っていて、天気も曇りの予報が何日か続きこの日撮影できなければ締め切りに間に合わない状況だったので、無事に間に合っただけ良かったです。

2月に入り、小野町ではまとまった積雪があまりなく過ごされました。うか。雪が降ったことで小野町は雪景色がいつもより長く続きました。これは好機と思い、とある日の午後、雪が止んだ直後に夏井川へドローンを飛ばしに行きました。雪景色の夏井川が撮れればと思いましたが、実際に行ってみると白鳥がたくさんいたので、急遽白鳥と雪景色の夏井川を撮ることにしました。白鳥を真上から見る機会なんてなかなかないと思います。白鳥にあまり刺激を与えすぎないようにゆっくり撮影を行いました。幸いにも風がほとんどなく、白鳥も飛んで逃げた様子はありませんでした。動画も撮影した



で編集をしてSNSなどに載せたいと思います。

おのまち認定こども園で遊ぼう

～地域子育て支援拠点事業のお知らせ～

おのまち認定こども園では、次のとおり地域子育て支援拠点事業を実施しています。子育てに関して、疑問や不安がありましたら、お気軽にご相談ください。

目的

地域子育て支援拠点事業は、子育て家庭の育児不安などの相談や子育てをしている仲間同士の交流、子育ての楽しさを共有することで、地域の子育て家庭に対する育児支援を目的とします。

開催日

月曜日・水曜日・金曜日

開設時間

午前10時から午後3時まで
※予約制となりますので、利用希望の方は事前にこども園へご連絡ください。

料金

無料

実施内容

- おひさまカフェの開放(親子で遊ぼう)
こども園の保護者の方や地域の子育て家庭の親子が気軽に集まることが出来る交流の場で、こども園に入園していないお子さんも、園内の遊具などで遊ぶことができます。
- 子育て相談(ママさん110番)
保護者の方が抱える子育ての不安や悩みに関する相談を行います。
- 地域の子育て情報提供
子育て中の方へ地域情報や育児・子育てに関する情報を提供します。

📍おのまち認定こども園
☎73-8321



今回の担当は...

山田 淳輝 隊員
担当/情報発信分野
主な活動場所/
つどっておのまち

